


マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino	絶滅危惧Ⅱ類
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	<p>写真(村瀬正成)</p>  
形態の特徴	多年草。大株となる。茎は高さ1-1.5m、直立して硬く、花序は散房状。小穂は無柄で楕円形。枝の先端に10-20個ずつ集まり花穂をつくる。	
生態的特徴	日当たりのよい湿地にはえる。	
分布状況	県南部にと県西部に分布するが、生育地は少ない。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。	
保全対策	湿地の保護、保全や、ため池改修時の生育環境維持活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成